

平成23年度 大学職員情報化研究講習会～応用コース～

第3分科会：大学の情報公表とICTの戦略的活用

大学の情報公表における現状から、その理想像を探る

Bグループ

座長：小島悠(東海大学)

発表者：後藤裕美(日本女子大学)

記録：松田裕次郎(福原学園)、上山学(関西外国語大学)

時間：清水久美子(崇城大学)

調整役：酒井恒介(富士通)、山下進(帝京平成大学)

平成23年11月9日(水)～11日(金) 於：浜名湖ロイヤルホテル

情報公表の意義について

大きな柱

- ①社会への説明責任
- ②教育の向上と質保証
- ③受験生のより良い大学選択

意義＝課題

情報公表の現状とあるべき姿について

理想(あるべき姿)

≠

現状

3P (AP, CP, DP) 等
他の公表項目を含む
受験生にとって価値的
で有益な情報の公表

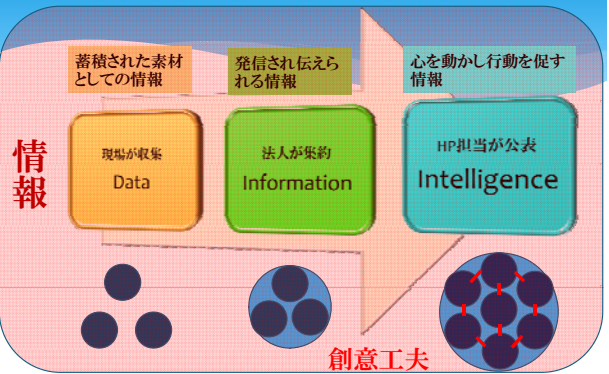
積極的で能動的な情報

溝がある!?

義務的な情報の公表

最低限の受動的な情報

情報公表のあるべき姿へのアプローチ



目的の明確化

情報公表の目的意思決定

・有益で価値のある情報に昇華させること

担当間の役割明確化

・情報管理の整備

情報共有の一元化

・ファイルサーバーにUP
・グループウェアの活用

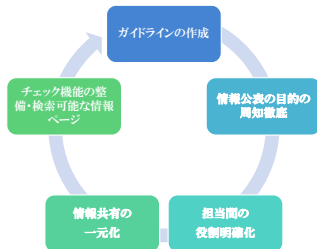
目的の明確化

“Data”を“Intelligence”な情報へと昇華させるために

何を持って・・・?

- ①学内ワーキンググループの立ち上げ(P)
- ②ガイドラインの作成及び配布(P)
- ③ガイドラインの実践及び改善(D)、(C)、(A)
- ④検索可能な情報ページ

事業モデルへ提案



7

展開スケジュール

現場 法人 HP

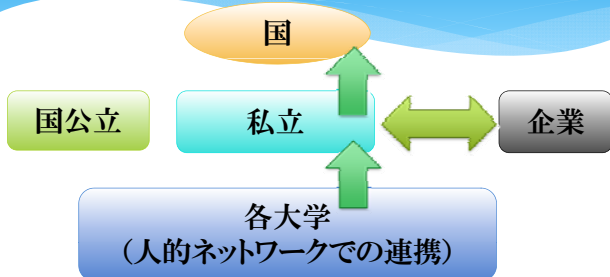
【大学連携】
最低限のルールの構築
・文言の統一
「教育情報の公表」
・リンクの設置場所
・建学の精神
・情報公表の意義

多様なステークホルダーからの様々な意見を徴収
[手法] HPのアンケートボタン
HPのPVの分析
広報誌の裏ハガキ
オプキャンでの紙アンケート



8

展開の構成図



9

情報公表の現状とあるべき姿について

理想(あるべき姿)

現状

3P (AP, CP, DP) 等
他の公表項目を含む
受験生にとって価値的
で有益な情報の公表

積極的で能動的な情報

~~溝がある！?~~

10